

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年6月29日(2006.6.29)

【公表番号】特表2002-535016(P2002-535016A)

【公表日】平成14年10月22日(2002.10.22)

【出願番号】特願2000-596375(P2000-596375)

【国際特許分類】

C 1 2 N 1/00 (2006.01)

C 0 8 F 26/06 (2006.01)

C 1 2 N 11/08 (2006.01)

G 0 1 N 33/48 (2006.01)

C 1 2 N 5/06 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 1/00 T

C 0 8 F 26/06

C 1 2 N 11/08 C

G 0 1 N 33/48 M

C 1 2 N 5/00 E

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月28日(2006.4.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 (a) ホールセル混合物でベースポリマー担体をスクリーニングして、該混合物からのホールセルへの最小の非特異的結合を示す1つ以上のベースポリマー担体を同定するステップと、

(b) ステップ(a)で同定された上記ベースポリマー担体中にアズラクトン部分を組み込んでアズラクトン官能性担体を提供するステップと、

(c) 前記アズラクトン官能性担体を所望のタイプのホールセルに対して生物学的に活性な物質で誘導体化し、前記物質が前記アズラクトン官能性担体と共有結合的にカップリングされるステップと、

(d) ステップ(c)の生成物をホールセルを含有する混合物に接触させるステップと、

(e) 前記カップリングされた生物学的に活性な物質に前記ホールセルを相互反応させて結合するステップと、

(f) 前記担体から前記混合物の残りを除去するステップと、を含む細胞選択方法。

【請求項2】 さらに以下の：

(g) 前記カップリングされた生物学的に活性な物質から前記結合した細胞を溶出してホールセルの精製収集物を製造するステップを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】 前記アズラクトン官能性担体が、アズラクトン部分を含む表面を有する、以下の：ビーズ、微粒子、メンブレン、配合製品、グラフトコポリマー製品、織布ウェブ、不織布ウェブ、固形プラスチック製品、およびそれらの組み合わせから成る群より選択され、かつ、前記生物学的に活性な物質が、抗体、レクチン、タンパク質、抗原、ア

ビジン、およびそれらの組み合わせから成る群より選択される請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】 請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の方法によって製造される精製ホールセル集団。

【請求項 5】 (a) アズラクトン官能性担体、

(b) 前記担体と共有結合的にカップリングした生物学的に活性な物質、および

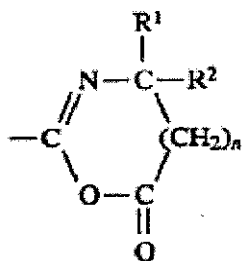
(c) 前記物質と相互反応するホールセル

を含む相互反応した担体であって、ここで、前記アズラクトン官能性担体が、プレスクリーニングされそして前記ホールセルへの最小の非特異的結合を示すことが同定された、1 つ以上のベースポリマー担体を含む、前記相互反応した担体。

【請求項 6】 前記アズラクトン官能性担体が、アズラクトン部分を含む表面を有する、以下のビーズ、微粒子、メンブレン、配合製品、グラフトコポリマー製品、織布ウェブ、不織布ウェブ、固形プラスチック製品、およびそれらの組み合わせから成る群より選択され、かつ前記生物学的に活性な物質が、抗体、レクチン、タンパク質、抗原、アビジン、およびそれらの組み合わせから成る群より選択される請求項 5 に記載の担体。

【請求項 7】 前記生物学的に活性な物質との共有結合性カップリングの前の前記アズラクトン官能性担体が、式、

【化 1】



(式中、 R^1 および R^2 は独立して1~14個の炭素原子を有するアルキル基、3~14個の炭素原子を有するシクロアルキル基、5~12個の環原子を有するアリール基、6~26個の炭素原子および0~3個のS、N、および非ペルオキシOヘテロ原子を有するアレニル基であることができ、あるいは R^1 および R^2 はそれらが共に炭素と結合して4~12個の環原子を含有する環状炭素を形成でき、そして、 n は0または1の整数である。)の少なくとも1つのアズラクトン官能基を有する請求項 5 又は 6 に記載の担体。